

2年サイエンスツアー（探究科） 報告書

1. 目的

先端的施設での研究・事業内容に触れ、学問に対する関心や探究心を高め、将来の進路設計の一助とし、化学・農業・医療健康について国際的な見地を持てるようにする。

2. 日程

10月4日（金）

①サラダコスモ信州工場 訪問

②JICA 駒ヶ根 訪問

③長野県看護大学 訪問

3. 研修の報告

①サラダコスモ信州工場

事業の説明，工場見学



事業の説明



移動



工場見学



パネル

②JICA 駒ヶ根

体験談（昼食を兼ねて）、訓練所の概要説明、施設見学、国際系課題研究発表



体験談（昼食を兼ねて）



訓練所の概要説明



移動



施設見学



若い力の歌



課題研究発表

③長野県看護大学

大学説明，施設見学，OG との交流



大学説明



施設見学その 1



施設見学その 2



OG との交流

4. まとめ

サラダコスモ信州工場では主にもやしを生産しており、最近では日本初のオーガニックもやしの生産も始め、中京・北陸・甲信越・関東地区方面へ出荷をしているとのことだった。あまり知られていないこのような事実を聞くことができ、生徒の進路設計に大きなヒントを与えて頂いた。

JICA 駒ヶ根では、昼食時に実際に海外に赴いて青年海外協力隊として活動した方のお話を聞く機会を頂いた。その中でも、ネパールで活動した方は佐久市出身で、地元の後輩である本校の生徒にチャレンジすることの大切さを説いて頂いた。生徒も真剣な様子で聞いていた。課題研究発表については、職員の方から資料の作成方法等についてアドバイスを頂いた。

長野県看護大学では、実際に実習で使用している部屋を見学させて頂いた他、入試に関する話や本校を卒業した学生から大学生活の話聞いて、生徒は今後の進路選択について色々と考えさせられた様子だった。

今回のサイエンスツアーは、生徒が今後の進むべき道を考える上で有意義であったといえる。